

★ Campus Topics .. ★ ★ ★ ★ ★ .. ★ ★ ★ ★

..... 武蔵工業大学創立75周年記念

★ 創立75周年に思う -- 未来への継続 --

武蔵工業大学 後援会
平成12・13年度会長 中山安男

武蔵工業大学創立75周年おめでとうございます。
平成16年10月16日、創立75周年を祝う式典が開催され、小杉元文部大臣をはじめ、多数の来賓の方が出席されました。祝賀会では、75年の歴史の思い出話をかたる輪がいくつもでき、尽きることない会話が弾んでいました。また町内会の皆さんも和太鼓演奏などを披露し祝っていただきました。

武蔵工業大学は、1929年、前身である「武蔵高等工科専門学校」として設立され、設立時の苦難、敗戦による荒廃等幾多の試練を乗り越えて今日に至っているとのこと。

教育は国家100年の大計と言われるように、国家の発展と繁栄の基礎となります。日本が経済大国と言われるまでには、工業の発達無くしてはあり得なかったと思います。武蔵工業大学の卒業生の産業界での活躍と実績により、戦後の復興、その後の日本の繁栄があったと思います。そして、本年、創立75周年を迎えることができたのも、卒業生はもとより、五島育英会、教職員、後援会の方々の教育に対する熱い理想と献身も忘れてはなりません。

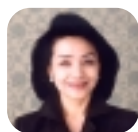
物も情報もあふれ過ぎて、目的が見えづらくなっている時代です。学生の皆さんの中には、日々地味な研究をつづけていることに疑問を持つ時もあるかと思います。壁が立ちただけ、困難に遭遇し、くじけそうになることもあるでしょう。しかし何事も続ける過程の克服が人生における強みとなります。武蔵工業大学で学び研究をつづける皆さん

には、自身の可能性を信じて挑戦し続けて欲しいと願っています。

私達も大人として、学生を辛抱強く見守り、支え、励ましていく努力をし続けなければならないと思います。継続なくして未来はありません。武蔵工業大学が創立100周年に向かってさらなる前進を続けられることを願っています。



★ 櫻井よしこさんによる創立75周年記念事業 記念講演会開催 記念講演会部会 幹事 大庭稔尚



武蔵工業大学創立75周年記念事業の一環として、2年間に渡り全国10都市で開催されてきた創立75周年記念講演会ですが、その締めくくりとして最後の記念講演会が創立記念日を間近に控えた平成16年10月13日(水)13時30分より世田谷キャンパス6B2教室において開催されました。

講師には長い間テレビのニュースキャスターとして活躍され、その後ジャーナリストに転身し、数多くの著書を出版されている櫻井よしこ

さんをお招きして、「日本ルネッサンス～明日への希望～」をテーマに国際社会の中での日本の過去・現在・将来について「頭と心」をキーワードにいろいろなエピソードを織り交ぜながらお話しいただきました。

その内容は国際的にも活躍されている櫻井さんらしく外国のいくつかの具体的な事例を挙げ、非常にわかりやすく語っていただき、会場いっぱい詰めかけた本学学生や教職員をはじめ近隣住民の方々も、櫻井さんの講演に熱心に耳を傾け、10月中旬だというのに会場内は汗ばむほどの熱気に包まれる盛況ぶりでした。

★「なんでも測定団が行く」講談社から発行

創立75周年記念事業行事委員会 出版部会長 小林光一

武蔵工業大学創立75周年記念事業行事委員会の出版部会では、平成13年10月より記念出版物の刊行について企画・編集作業を進めてきたが、平成16年8月20日、講談社ブルーバックスシリーズの1冊として、「なんでも測定団が行く - はかれるものはなんでもはかる - 武蔵工業大学編」というタイトルの単行本を刊行した。この本は諸学の基本となる「はかる」ことを主題に、本学の工学部および環境情報学部の教職員がそれぞれの専門分野を生かした50の話題を共作したものである。編集方針は肩のこらない平易な内容で社会のいろいろな事象の測定法を解説したもので、読者諸氏の知的好奇心を刺激し、その上、武蔵工業大学の知名度を向上できればとのネライがある。全学の約50名の教職員のボランティアのご努

力とご尽力の結果、本単行本を上梓することができた。この単行本中のイラストは本学建築学科4年の石綿桂さんが描いてくれた。また、学内配布用の帯のデザインは本学大学院建築学専攻修士2年片淵有生君が作成してくれた。このようにこの出版物は本学の総力を挙げて刊行したものだといえる。

最後に、この本は本学後援会の多大なるご支援のもとに、本学に籍を置く学部学生および大学院生にも配布された。この場をおかりして後援会の皆様へ深く感謝申し上げます。

